

福井連協たより

発行責任者 山本 忠
編集責任者 近藤源一郎

会員拡大取組みを補強して提案

J P 労組福井連協退職者の会（山本忠会長）は、去る8月20日、福井市内のアオッサにおいて第3回定期連協総会を開催しました。

支部からは規定に則り12名の支部代表者、福井連協退職者の会幹事会役員、福井退職者連合の福田会長、現役の各支部役員4名を含む

む12名の来賓のみなさんが集まりました。

総会では、近藤源一郎連協事務局長の開会のあいさつと議長の出選で始まり、福井中部支部の川崎敬二支

部代表が議長に就任し議事進行に努められました。

総会の主催者代表として山本忠会長は、会員の死亡を上回る新規の会員加入があったこと、「おもてなしイベント」の成果を披露すると共に各支部の協力に感謝を述べるあいさつをしました。

続いて、退職者連合の福田会長、北陸退職者の会坂本会長、北陸地方本部牧野委員長、福井連協内田議長、共済生協北陸地方高村

部長、西畑県会議員、民進党福井一区辻支部長、同二区齊木支部長から激励のあいさつをいただきました。

引き続き近藤事務局長から2016年度活動経過報告・決算報告と2017年度の活動計画案および予算案の説明を、特に①会員の拡大の取り組みを補強し、②おもてなしイベントを会員のいっそうの参加で盛り上げよう——との提案を行い、全会一致で承認され総会は終了しました。

「おもてなしイベント」にいっそうの参加を呼びかけ



J P 労組退職者の会福井連絡協議会 第3回総会
2017. 8. 20 アオッサ

会員の拡大とおもてなしイベントの成功を確認

福井連協退職者の会は9月29日、内田義徳福井連協議長・地本書記次長の出席の下、第1回の連協幹事会を福井県教育センターで開催しました。

協議の結果、会員の拡大については、各支部ごとに目標を設定し、次年度の第4回連協総会までに20名の新規加入を果すことを確認しました。
親睦交流については、連

協「おもてなしイベント」を成功させることとし、今回の世話支部を福井支部（山崎治幸会長）とし、2018年4月18日（水）に『朝倉遺跡散策と名物ランチ&懇親会』に決定しました。

福井支部からは「綿密な打ち合わせをしながら、おもてなしをしたい」との決意の一端が示されました。その他、慶弔金の手渡し、

支部親睦行事には現役への参加呼び掛けも確認しました。



昨年開催の「おもてなしイベント」
(紙すき体験)

私たちが推薦する立候補予定者

福井2区

斉木武志



私たちが支援する立候補予定者

福井1区

鈴木こうじ

